

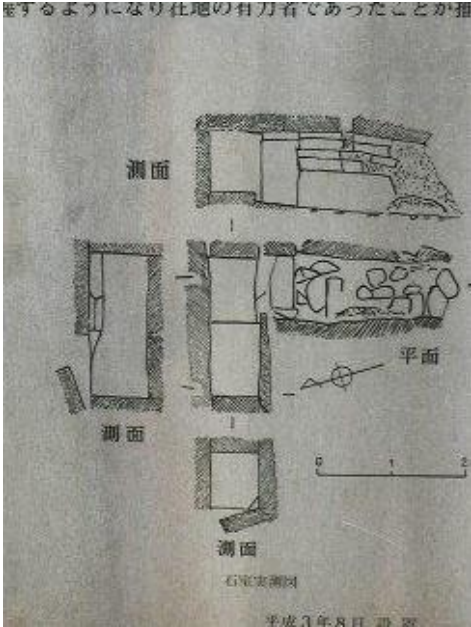
〔ふるさとの宝13〕

無木一号古墳について

く 阿井で一番古い墓 く

下阿井無木の若林朝富氏宅の前より町道を約五十メートル行ったところに案内板が立ち、そのそばには小さなこんもりとしたところがある。これが無木一号古墳といって、今から約千三百年以前のお墓である。（これより約四十メートル東にいった所に二号古墳がある。）

封土（盛り土）はかなり流れているが、元は直径約八メートルの円墳と考えられる。又石室（死者を納めた室）は入り口とL字形である（図を参照）。又石組みは石棺式石室（L字型横口式石槨）と呼び、この様な古墳は全国的にみて香川県に二基、石川県に一基あるのみで珍らしいものである。誰を葬ったかはもちろんわからないが古墳の構造などから考えれば、相



当一般の人達を導くことのできる人で、奈良時代の三沢郷（阿井・三沢・馬木・温泉）を支配するような、在地有力者であったと想定される。

